



# 誤まった使い方が事故を呼ぶ

## ●守ってください 使用上の注意

この季節、大活躍の暖房器具で、ころ普及の目覚ましい石油ファンヒーターについて、必ず守っていただく必要があります。

そこで、暖房器具の中でも、販売台数が一千万台を越え、このこと

ころ普及の目覚ましい石油ファンヒーターについて、必ず守っていただく必要があります。

そこで、暖房器具の中でも、販売台数が一千万台を越え、このこと

### 換気

#### 新鮮な空気を一時間に一〜二回

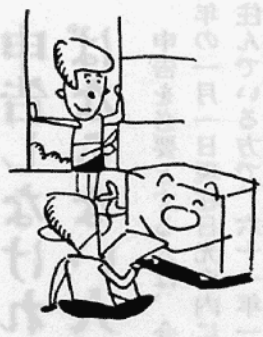
ファンヒーターは、室内の空気(酸素)を利用して燃焼し、同じ室内に排気する構造になっています。ですから閉めきった部屋の中でファンヒーターを長時間使い続けると、酸素が少なくなり、不完全燃焼による一酸化炭素が発生し始めます。

ファンヒーターによる一酸化炭素中毒は、こうして室内に急激に増えた一酸化炭素が肺に吸収され、人体内への酸素の供給をストップさせてしまうために起こるものです。初期は頭痛、吐き気を伴い、

ひどくなると重い機能障害、最悪の場合は死に至ることもあります。

このような事故を防ぐために絶対必要なのが換気です。

換気は一時間に一〜二回、一〜二分、窓を四十五〜八十センチほど開けて行ってください。室温が摂氏二十度、外気温が摂氏十度の状態での換気をする、室温は一時的に摂氏十四、五度までに下がりますが、元に戻るには、わずかに半分ほどしかかかりません。



### 消火

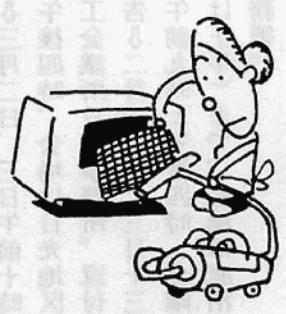
#### 就寝・外出のときはもう一度チェック

従来の開放型石油ストーブと違って、ファンヒーターは炎が目に見えないため、ついうっかり消し忘れることがあります。寝るとき、でかけるときには、消火を確かめる習慣を、ぜひつけるようにしてください。

### 掃除

#### 月一〜二回はフィルターの汚れをとる

燃焼に必要な空気の取入れ口には、エアフィルターがついています。ここにごみや



ほりりが付いて目詰まりすると、空気が十分に送りこまれなくなると不完全燃焼を起す原因になります。

エアフィルターは、最低一月に一〜二回、掃除機などできれいに掃除してください。ストーブ前面の温風吹出口の掃除もお忘れなく。

### 燃料

#### 必ず白灯油を使う

石油ストーブの燃料は白灯油です。白灯油が足りなくなつたとき、ガソリンや機械油、天ぷら油などを代用することは避けてください。異常燃焼を起こしたり、火が消えたりして大変危険です。

また、ガソリンスタンドで買うときは、必ず「白灯油」と指定してください。ファンヒーターの正しい使い方、手入れの方法は、取扱

い説明書にさらに詳しく記されています。取扱説明書はよく読み、いつも手元に置いて不確かながあればすぐに調べられるようにしておきましょう。

## 防火の大役

### あなたが主役

#### 春の全国火災予防運動

2月28日〜3月13日



3月7日は消防記念日。消防車による市内パレードが行われます。サイレンがなりますので、火災と間違わないようにしてください。

また、3月7日から13日までの間、午前7時と正午の2回、サイレンを吹鳴します。